

深谷街歩きマップ

青淵洗沢栄一翁関係史跡【論語の里】めぐり

① 洗沢栄一記念館 (八基公民館)
洗沢栄一記念館は、平成7年11月11日(青淵翁祥月命日)に開館となった。洗沢栄一資料室には、各種の資料が展示されている。

② 洗沢栄一生地 なかんち
青淵翁は天保11年(1840年)、ここ血洗島の「中の家」に生まれた。現在の建物は明治28年に再建されたものである。この建物は、青淵翁の意志を受け継ぎ「洗沢国際学園」として日本語を学ぶ外国人を受け入れていたが、平成12年3月、学園としての役目を終了した。

③ 青淵由来之跡の碑
青淵翁の97回誕生日に相当する吉日を期して、ここ「上の瀬」にこの碑の除幕式が行われた。式には、令孫洗沢敬三が臨席している。

④ 薬師様(諏訪堂)
発願主洗沢宗助をはじめとした村役人等による、安政7年建立の石地蔵。血洗島村民による洗沢栄一撰文・揮毫による、大正7年建立の水戸藩烈士の弔魂碑がある。

⑤ 諏訪神社
血洗島の氏神様であり、伝統の獅子舞は名高い。拝殿は、大正5年青淵翁の寄進によるものである。境内に、洗沢青淵翁喜寿碑、穂積歌子(栄一翁の長女)の植えた「橘」がある。

⑥ 市立八基小学校
八基小学校の屋上の校章は、この地ゆかりの藍にちなみ、藍色に染められている。なお、八基小学校の校歌は、大正4年に制定され、その作詞は、青淵翁の長女穂積歌子によるものである。

⑦ 鹿島神社
青淵翁の母えいは、ここ鹿島神社の禰の祖元の井戸水を使い、境内に設けられた共同浴場で、ハンセン病を患っている婦人の背中を流した。青淵翁が終生慈善事業に貢献したのも、この母譲りの慈悲心によるものである。

⑧ 尾高惇忠(藍香)生家
尾高惇忠は、青淵翁と従兄の関係にあり、10歳年上の論語の師である。雅号を藍香といい、維新後、官営富岡製糸場の初代場長を務めた。青淵翁の妻千代は、惇忠の妹である。

誠之堂・・・栄一翁の喜寿を記念して、当時の第一銀行の有志が建設した。
清風亭・・・誠之堂の横にあり、翁の後継者・佐々木勇之助の古希を記念して建てられた。
なお、これらの建物は、平成11年、世田谷区から移築されたものである。

深谷宿本舗/映画館